

パネルディスカッション

【テーマ】

様々な「知」や「人財」が共鳴して集う地域の実現に向けて

【趣 旨】

リニア中央新幹線の開通により、首都圏、中部圏、近畿圏が一体化する「スーパー・メガリージョン」が形成され、世界からヒト・モノ・情報の流入と高密度の連携が促進されるなど、飯田を取り巻く環境は大きく変化することが予想されます。

変化の激しい「大交流時代」迎えるなか、地域の持続性を確かなものにしていくためには、飯田の価値が世界から認められ、多くの「知」や「人財」が共鳴して集う地域づくりを、多様な主体の連携のもと進めていく必要があります。

今回のパネルディスカッションでは、その様な地域の実現に向け、日本及び地方都市の将来像やニーズを見据えつつ、飯田の持つ資源やポテンシャルなどを確認するとともに、両者を照らし合わせるなかで、飯田の資源をどのように活用し、また新しく創造していけば良いのか、様々な「知」や「人財」を引き寄せる磁力をいかにして形成していくか、ともに考える機会とします。

【コーディネーター】

○石神 隆 氏 (法政大学人間環境学部教授)

専門は、サステイナブルな地域づくり、地域計画、都市・地域と水の関係史など。

国際経営文化学会副会長などを務められるとともに、飯田市第4次基本構想基本計画の策定や、この度の「いいだ未来デザイン 2028」の策定においても未来デザイン会議（飯田市基本構想審議会）専門委員を務められるなど、当地域のまちづくりに様々な角度から提言等いただいている。

学輪 IIDA のメンバーであり、「南信州・飯田フィールドスタディ」にも例年学生達とともに参加されている。

【パネリスト】

○福島 茂 氏 (名城大学副学長 都市情報学部教授)

専門は、都市計画・地域開発・地域政策であり、グローバル化、高齢化・人口減少などの社会経済の変動と計画論などについて研究をされている。

名古屋市都市計画審議会会長、JICA ブータン全国開発計画 2030 策定プロジェクト国内支援委員会委員、日本都市計画学会アドバザリー委員会委員・中部支部幹事、日本計画行政学会理事・中部支部副支部長などを務められる。

学輪 IIDA のメンバーであり、「共通カリキュラム構築プロジェクト会議」にて取り組むフィールドスタディにも、例年学生達とともに参加されている。

○藤田 武弘 氏（和歌山大学観光学部長 国際観光学研究センター長 観光学部教授）

専門は農業経済学であり、農山村再生、都市農村交流、グリーンツーリズム、6次産業化などを研究テーマとされている。

観光庁の地域資源を活用した観光地域魅力創造委員会委員、和歌山県のグリーンツーリズム推進委員会委員長、子ども農山漁村交流プロジェクト推進協議会会長、大阪府の農林水産審議会専門委員、日本農業市場学会の全国理事などを務められる。

学輪 IIDA のメンバーであり、これまでも当地域における地域再生（特に農山村再生に関わる体験修学旅行やワーキングホリデー）に関する調査研究等に取り組まれている。

○堀口 朋亨 氏（京都外国語大学外国語学部准教授）

専門は経営経済学、人的資源論、国際経営、組織間協働研究など。

人的資源を研究し、人の持つ創造性をいかに協働の中から生み出せるかについて検証されている。

また、国際ジャーナルの編集に携わっていた経験から、情報を享受するだけではなく新たな価値や見過ごされてきた価値あるものを世界に向けて発信する活動を行っている。

学輪 IIDA のメンバーであり、飯田のブランド力向上に向けた取組にも関わっていただいている。

【コメンテーター】

○牧野 光朗 （飯田市長）